

令和4年度第2回亀岡市総合計画審議会 議事要旨録

日 時：令和5年3月15日（水） 10時30分～11時15分

場 所：亀岡市役所6階602.603会議室

出席者：前田正史会長、西村満副会長

浅田信仁委員、石山耐子委員、今里佳奈子委員、

川勝啓史委員、神崎弥委員、木村好孝委員、櫻間晴子委員、

鈴木康久委員、多胡麻衣委員、手塚恵子委員、中西一夫委員、

並河杏奈委員、原田禎夫委員、三宅基子委員

欠席者：浅野剛蔵委員、奥村昌信委員、玉井亮子委員、辻香委員

議 題：1 開会

2 議事

(1) 令和4年度の行政評価結果について

(2) 令和5年度の進行管理・行政評価について

3 閉会

1 開会

事務局

- ・委員の半数以上の出席により、本審議会が成立している旨、ご報告する。
- ・本審議会は公開にて開催させていただく。

2 議事

事務局

- ・議事に入る。亀岡市総合計画審議会条例第5条第1項に基づき、会議の進行は前田会長にお願いする。

(1) 令和4年度の行政評価結果について

前田会長

- ・議事1、令和4年度の行政評価結果について、事務局から報告願う。

事務局

- ・資料1(令和4年度 亀岡市総合計画審議会・進行管理部会の取組結果)及び、資料2-1から2-4(第5次亀岡市総合計画 令和4年度行政評価シート)に基づき報告。

前田会長

- ・進行管理部会長の原田委員から補足等があればお願いする。

原田委員

- ・今年度、市民の皆さんの関心も高い分野、学校教育及び公共交通について行政評価を行った。
- ・初めての試みとして現地視察も実施し、学びも多く、進行管理部会委員の皆さんからも積極的に意見を頂戴することができた。
- ・より良い進行管理となるよう改善していくため、ご意見をいただければと思う。

前田会長

- ・議事1について、ご質問やご意見があれば。

A委員

- ・行政評価の方式を大きく変えたことによって、良かった点と課題点は。

原田委員

- ・かねてより成果指標の設定方法は課題であった。例えば資料2-1、ICT機器を活用した教育の推進事業に係る成果指標はタブレット活用率としているが、それが成果指標として妥当かどうか等、議論を重ねた。成果指標を固定しないことが大事ではないかと考えている。
- ・また、審議会委員の皆さんは市政や行政事務に比較的明るいと考えますが、それでも現地視察による気付きが多くあった。行政にとっては当然の業務であったとしても、広く市民に知っていただくための広報活動を行ってもよいのではないかと、という意見をいただけたことも収穫であった。

B委員

- ・令和4年度の行政評価対象事業については、どのような視点により4事業を選定されたのか。また、今後の選定についてはどのように考えておられるのか。

原田委員

- ・基本的には総合計画の「章・節」単位で絞り込み、その中から対象事業を選定する、という考え方をしている。
- ・新規事業や市民の関心が高い施策を重点的に評価するのか、あるいは継続的な業務だが市政に欠かせない事業に着目していくのか、バランスの取り方が難しい。

C委員

- ・今年度の行政評価手法は非常に良いと感じている。市民意見を聞き、現地視察をし、進行管理部会ヒアリング、市長・副市長ヒアリングでの評価を再度進行管理部会で議論し、その内容を事業担当部署へ返している。非常に良い進行管理だと思う。
- ・他の自治体ではどのように進行管理されているか、何か情報があれば教えてほしい。

原田委員

- ・本審議会の進行管理・行政評価の取組は先進的であると自負している。

- ・他の自治体には、従来から指標として用いられてきた人口や経済規模とは違い、施策の大きな目標として「幸福度」を掲げ、そこに各施策事業がどのように貢献しているのか、という視点で取り組まれているところもある。本審議会も学びながら取り組んでいきたい。

事務局

- ・行政評価の仕組みの中に首長が自ら入っている自治体は少ないのではないかと思う。

前田会長

- ・今年度の行政評価では市長が今後の展開について指示を出されている。議会の議決を経て来年度予算に反映される。そこまでつながっていくことは非常に良いことだと思う。
- ・大学においても学生に授業アンケートを取り、聞き入れるべき意見は聞き入れている。
- ・学校給食に関することなどは、子どもの意見も聞きながら取り組んでも良いのではないか。
- ・ICT機器を活用した教育に関して、タブレットの取り扱いは子どもたちも慣れたものだろうが、教員だからこそできることもある。
- ・公共交通に関しては、地域住民はもちろん、若年層の意見も広く聞いてほしい。

(2) 令和5年度の進行管理・行政評価について

前田会長

- ・議事2、令和5年度の進行管理・行政評価について、原田部会長より報告願う。

原田委員

- ・資料3に基づき、令和5年度の進行管理・行政評価の手法について説明。
- ・今年度の行政評価手法を継続するが、市長・副市長から進行管理部会に対して、ぜひとも評価してほしいという事業がある場合には、行政評価対象事業として追加選定することも可能とした。

事務局

- ・資料4に基づき、令和5年度の総合計画審議会・進行管理部会の取組予定について説明。

原田委員

- ・進行管理部会はあくまでも外部の評価委員組織であるが、市としてもできる限り早い段階で行政評価を受けることによって、より良い事業にしたいという思いがあることも至極真つ当な考え。
- ・進行管理部会は独立した組織であることを担保しつつ、柔軟に対応していきたい。

3 閉会

事務局

- ・次回の総合計画審議会は令和5年5月を予定しており、後日、日程調整のご連絡をさせていただきます。

以上